

アキラさんだ

夏号



AQUA SANDA

Seasonal Information
From SANDA Water
Purification Plant

2017

Vol.

13

安全で安心な水をいつでも

壁面が目にも鮮やかな白色壁面に生まれ変わりました。



ウエット活性炭注入棟

ドライ活性炭注入棟



給水ポンプ棟

Message

- ◆兵庫ジャーナル 記事掲載
- ◆事故実地訓練
- ◆水道週間関連イベント
- ◆場内環境整備

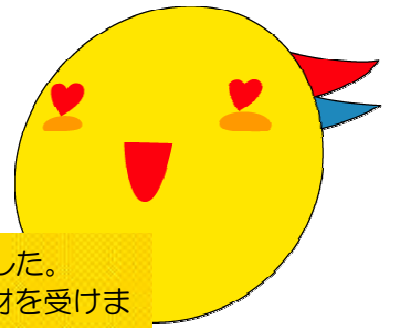
Information

- ◆場内 初夏の花暦
- ◆三田の異人さん

建物の壁面補修のため長い間塗装の飛散防止ネットで覆われていましたが、完成し遠くからも目立つ白色の建物が現れました。



◆兵庫ジャーナル 記事掲載



三田浄水場が小学生の見学風景などを兵庫ジャーナルに取り上げて頂きました。
 5月16日(火)に三田市立松が丘小学校見学時に記者がお見えになり取材を受けました。記事は6月5日号に掲載していただきました。



中央操作室の見学風景



浄水実験の見学風景



安全で安心な水道水を安定供給

北摂広域水道事務所 兵庫県三田浄水場

24時間365日休まず稼働

三田浄水場は、昭和41年(1966年)に甲子園球場の跡地に建設された。当時の人口は約15万人であったが、現在は約30万人に増加している。このため、浄水場の稼働は24時間365日休まず稼働している。また、浄水場の稼働には、高度な技術と設備が必要である。三田浄水場では、最新の設備を導入し、高度な技術で浄水を供給している。

ガス発電で安定供給

水源地の確保は、安定した水道水の供給に不可欠である。三田浄水場では、水源地の確保と並行して、安定した電力供給の確保も重要な課題となっている。そこで、三田浄水場では、ガス発電を導入し、安定した電力供給を実現している。これにより、浄水場の稼働が安定し、安全で安心な水道水の供給が可能となっている。

記事は?!
 小学生の社会見学、県の水道供給事業、三田浄水場の運営状況、太陽光発電、広報紙「アクアさんだ」、ガス発電導入などによる危機管理体制
 などなど盛りだくさん!!



さすがプロの仕事 流れるような文書、写真のアンクル配置も good balance!!

◆事故実地訓練

想定：除塵機が運転不能



三田浄水場では、武庫川から取水し浄水を行い、各市に給水を行っています。取水した水は、除塵機により川から入ってくるゴミをとり除くもので、これが停止し取水ができなくなったとの想定で、訓練を実施しました。



降雨による大量のゴミの流下のため、除塵機が自動停止し原因調査の為、現地に駆けつけるとシャーペン（安全装置）が破断していることが判明し復旧作業を行いました。



訓練終了後、反省会を実施し問題点の抽出および改善方法のまとめを行いました。



◆水道週間関連イベント

小学校4年生の社会科授業で「郷土の社会科」として学習する時間があり、その中で「命とくらしをささえる水」として浄水場の現地学習（見学）を行い、水道週間に合わせて小学校の見学を誘致し、積極的に水の大切さと水道事業をPRしました。

小学生の見学



当浄水場はほとんどが小学生の見学ですが、今回は神出簡易水道組合連合会の方に見学して頂きました。

一般者の見学



◆場内環境整備



初夏を迎えるあたりから、木々の若葉が大変目に美しく映りますが、雑草の成長も活発になります。

今回は草刈り作業を行い場内もさっぱりとしました。

◆場内 初夏の花暦

浄水場の敷地内にはさまざまな木々が植栽されており、季節におうじてきれいな花をみることができ
ます。春から夏にかけては、一年の中でもっとも花々が咲き誇る季節となります。

3月の梅に始まり4月のさくら、八重桜、5月のつつじ、やまぼうし6月の紫陽
花と続いていきます。うめは5月にはたくさんの実がなります。

武庫川を挟んで浄水場の様子



たくさんの梅の実

やまぼうし

花々の開花に合わせて、生き物たちの活動も活発になります。例年コシアカツバメやセグロセ
キレイの営巣が見られますが、今年はキジバトの営巣も見られました。



キジバト



ミドリガメ





◆三田の偉人さん

「化学」という言葉をはじめて使った実験家
国産ビールの父

川本幸民（かわもと こうみん）[1810年～1871年]

なにをした人

幸民麦酒の復刻版は
香り高くフルーティーな味わいです

どんな人

江戸末期、三田足軽町（今の三田町）で、
藩医の三男として生まれました。学問において抜
群の成績で、江戸に遊学することとなりました。

蘭学者・坪井信道の安懐塾に入門。当時の最先
端の蘭学、医学、化学、物理学などを学ぶ。こ
こで緒方洪庵と終生の友となりました。

江戸では、三度の大火や浦賀への蟄居（ちっき
よ）の不運に見舞われながらも、蕃書調所（ばん
しょしらべしょ（今の東京大学））の教授となりま
した。

また、薩摩藩の島津斉彬（しまづなりあきら）や幕
府から、高く評価され、仕えた時期もありました。

明治になり、三田に戻り、金心寺で英語と物理
化学をおしえる英蘭塾を開きました。

初めて麦酒を醸造した日本人

1853年ペリーが浦賀に来航した際、通
訳として、黒船に乗り込みました。その時、
振る舞われたビールに魅せられ、自分の
手で作りたいたいと思立ち、自宅にかまど
を作って実験にとりかかります。清酒酵
母を代用し、醸造したようです。その年
の九月にビールづくりに成功し、蘭学者
を招いて盛大な試飲会を開き、それは西
洋を飲み干す気概を示すものでした。

負けず嫌いの幸民

裕福な商家に往診に出かけたときのこ
と、その家の主人が冗談で、「もし、マッ
チを作ることができたら、五十両を与
える」と言った。当時のマッチの製作は、
爆発の危険と隣あわせ。しかし、幸民は
ひるまず実験を重ね、試作に成功します。
主人は、あれは、冗談だよと言って、お
金をケチってやろうとした。が、うわさ
が、あちこちに広まったため、泣く泣く
五十両を支払ったという・・・。

顕彰碑

三田小学校の隣、三田大池の横



幸民のふるさと三田で、平成29年11月3日
第一回「三田ビール検定」が実施されま
す。

詳しくは、下記まで

（三田市まちのブランド創造課）

☎079-559-5012 FAX 079-563-1366

Eメール: machibrand@city.sanda.lg.jp

そして、まだまだ実験は続き

白砂糖、電信機、銀板写真や薬剤を塗
布した湿板写真の開発と撮影・・・業績
は、平賀源内に匹敵すると評価されまし
た。

困難を乗り越え、医学や科学技術の追
求を貫いた人。家族や友を愛し、郷土を
愛し、藩を愛し、日本を愛した愛の人。

学問の探求と人間的な情愛とが決して
矛盾しないことをおしえてくれました。

発行 兵庫県企業庁 北摂広域水道事務所 （三田浄水場）

〒669-1314 三田市西野上字上通り 152 番地

TEL. (079)567-1663 FAX. (079)567-1674

メール hokusetsusuidou@pref.hyogo.lg.jp

「アクアさんだ」編集委員

細井、松井、安田、西野、坂瀬、浅原